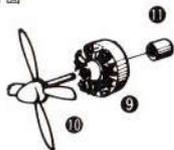
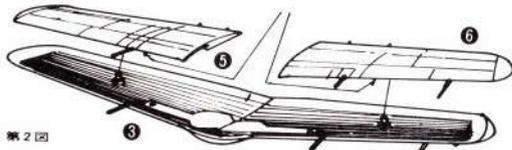


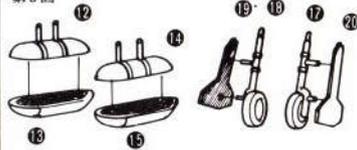
第1図



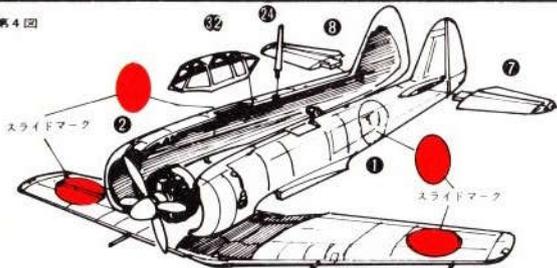
第2図



第3図



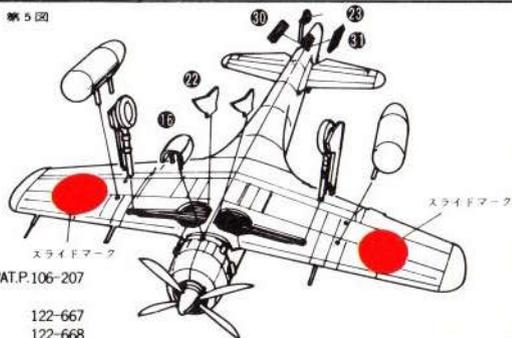
第4図



●組立ては図面と部品をよく照合して、部品の間違いがなくように組立ます。

また、内側や細かい部分を先に色塗りしておくと、組上がりがきれいです。

第5図



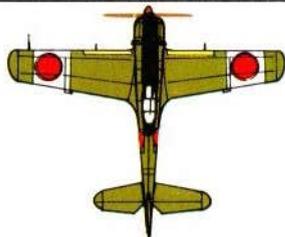
PAT.P.106-207

122-667

122-668

疾風について

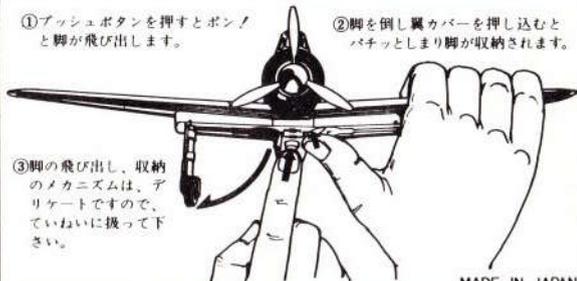
“大東亜決戦機”として期待されて登場した。この機体は快速重武装戦闘機であり、4種プロペラをつけ、ほっそりした胴体と、小径のホムレエンジンとを備え、昭和18年にじめに完成。当時日本陸海軍中最高の毎時 624km の速度を記録した。しかし、実戦ではエンジンの不調に泣かされながら、中支、フィリピン、沖縄、本土防空に活躍した。



パチッ! としまつてボン! と飛び出すパチパチキョット

①プッシュボタンを押すとボン! と脚が飛び出します。

②脚を倒し翼カバーを押し込むとパチッ! としまり脚が収納されます。



③脚の飛び出し、収納のメカニズムは、デリケートですので、ていねいに扱って下さい。



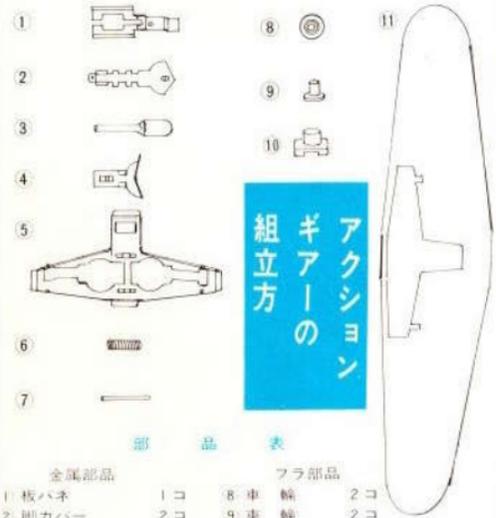
KK マルサン

東京都台東区上野6-1-12-2

TEL 03-623-3903 (7代)

MADE IN JAPAN

アクション ギアの 組立方

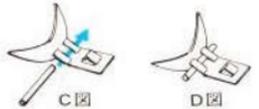


| 金属部品 | | プラ部品 | |
|-----------|----|----------|----|
| 1 板ハネ | 1コ | 8 車輪 | 2コ |
| 2 脚カバー | 2コ | 9 車輪 | 2コ |
| 3 脚柱 | 2コ | 10 押しボタン | 1コ |
| 4 翼カバー | 2コ | 11 下面翼 | 1コ |
| 5 フレーム(枠) | 1コ | | |
| 6 スプリング | 2コ | | |
| 7 シャフト | 4本 | | |

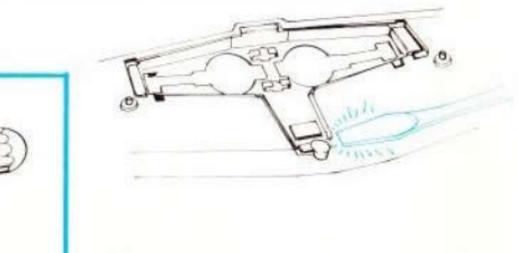
組立
① コイルスプリングの引掛を作る
カッターナイフ又は安全カミソ
リの替刃でA図のように外側
に開き両端がB図のように仕上
げる。



② 脚カバーにシャフトを
さし込みD図のように
する。

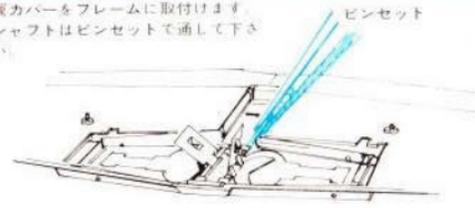


③ E図のように脚カバーに
車輪をおき車軸を押し込
み脚柱を押し込み、脚カ
バーの凸部を曲げて固定し、
シャフトを通しF図のよ
うにします。

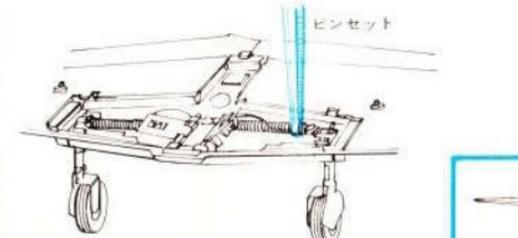
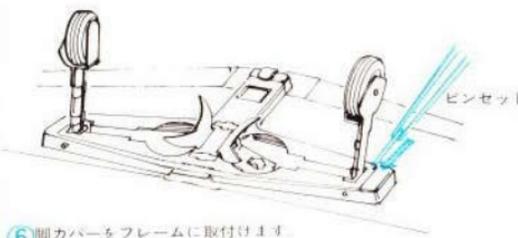


④ 下面翼にフレーム(枠)を取付け、翼の凸部を
図のように挟いたドライバーの頭でつ押し固
定します。

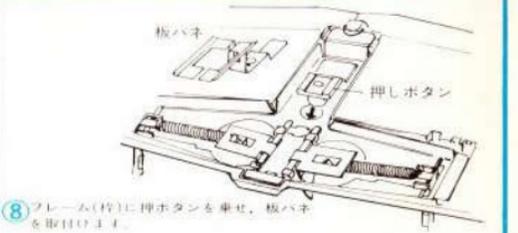
⑤ 翼カバーをフレームに取付けます。
シャフトはピンセットを通して下さ
い。



⑥ 脚カバーをフレームに取付けます。



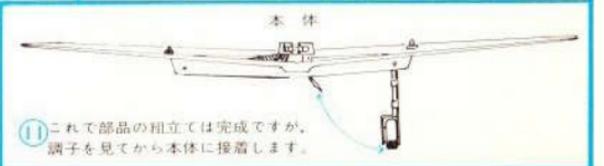
⑦ 脚カバーと翼カバーとをスプリングで結びます。ピン
セットでスプリングをはさみ図のように翼カバーのツ
メにかけ、反対側の脚カバーのツメにかけて結びませ
が、スプリングをとばさぬように注意してください。



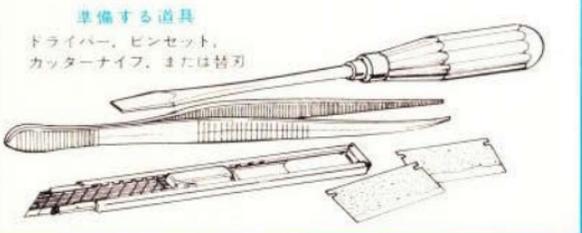
⑧ フレーム(枠)に押しボタンを乗せ、板ハネ
を取付けます。

⑨ 板ハネの取付けは先づ図
のように、板ハネの先端
をやや奥に向けて入れ、
たいらになったところで、
手前に少し引戻すかえり
押しがえし、フレーム
の凸部部にさ
しこみます。

⑩ 板ハネの取
付け部をピン
セットで手
ライバーで
直すと板ハ
ネがきつな
いようにな
る。



⑪ これで部品の組立は完成ですが、
調子を見てから本体に接着します。



準備する道具

ドライバー、ピンセット、
カッターナイフ、または替刃



疾風